

令和元年度 量子医療推進講演会

# 『切らずに“がん”を治す』 新しい医療を目指して

～量子医療の最前線から～

【主催】(一財)量子医療推進機構

【後援】佐賀県、鳥栖市

参加  
無料

## 日時

令和2年

2月2日(日) 13:30  
16:30

## 場所

サンメッセ鳥栖  
大ホール

佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1819 番地  
(TEL 0942-84-2121 <https://www.city.tosu.lg.jp/1677.htm>)

## 申込み・問合せ先

国立研究開発法人

産業技術総合研究所九州センター

TEL: 0942-81-4003 FAX: 0942-81-4089

e-mail: [tosu4-ml@aist.go.jp](mailto:tosu4-ml@aist.go.jp) 担当: 坂本、西村

裏面の参加申込書を FAX、

または必要事項をメールにてお送りください。

※当日の申し込みも可能です。

## プログラム

13:30-13:35

開会と挨拶

量子医療推進機構 理事長 指山 弘養

13:35-13:50

一般財団法人量子医療推進機構の紹介

量子医療推進機構 理事 中川原 章

13:50-16:30

記念講演

13:50-15:05 (座長: 中川原 章 (量子医療推進機構 理事))

【講演 1】

「量子メスによる日帰り癌治療と  
アイソトープによる革新的診断治療」

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構  
量子医学・医療部門長  
放射線医学総合研究所長 中野 隆史



(休憩)

15:15-16:30 (座長: 坂本 満 (量子医療推進機構 理事))

【講演 2】

「ミクロレベルでがん細胞だけを  
破壊する夢の粒子線治療、  
ホウ素中性子補足法の新展開」

大阪医科大学がんセンター 特務教授  
宮武 伸一



16:30

閉会

量子医療推進機構 理事 石橋 正彦

あいさつ

わが国では、2人に1人が生涯にがんに罹る時代になりましたが、医学の急速な進歩により3人のうち2人は治る様になりました。

しかしながら、全がん患者の3割以上を占める希少がん・小児がん・難治性がんについては、未だ診断法や治療法の開発が大変遅れており、治っても様々な晩期合併症に生涯悩むという状況にあります。

一方、量子の世界を操る「量子科学技術」は、がん治療の分野においても重粒子線治療に代表される量子メスをはじめ光免疫療法など、AIと共にその活用による新たな医療（=量子医療）の展開に大きな期待が寄せられています。

そこで、私たち『一般財団法人 量子医療推進機構』は、様々な分野の“知”が融合・結合する場づくりを進めることにより、「量子科学」を身近に、縦横に活用した新しい診断・治療法の研究開発を推進し、希少がん・小児がん・難治性がん等の患者個人に合った最適な診断法・治療法の開発を、世界に先駆けて進めたいと思っています。

皆さんと一緒に、子供たちや家族の夢と希望を膨らませ、地球上の誰もがその恩恵を受けることができる社会の構築を目指しましょう。

一般財団法人 量子医療推進機構 理事長 指山 弘養

参加申込書 ※当日の申し込みも可能です

企業名・団体名		フリガナ	
所属		役職	
氏名	フリガナ	e-mail	
		電話	
所属		役職	
氏名	フリガナ	e-mail	
		電話	
所属		役職	
氏名	フリガナ	e-mail	
		電話	
備考	ご質問などをご記入ください		

【申込先】産総研九州センター 担当：坂本・西村宛

**FAX 0942-81-4089**  
**e-mail tosu4-ml@aist.go.jp**

参加申込書をFAX、または必要事項をメールにてお送りください。

※本申込書にご記入いただきました情報については、個人情報保護法のもと適切に管理いたします。本目的以外への転用はございません。

**会場アクセス サンメッセ鳥栖** 佐賀県鳥栖市本鳥栖町 1819 番地 (https://www.city.tosu.lg.jp/1677.htm)

**国道3号線経由** 商工団地北入口（左折・右折）より 900m、駅前不動産スタジアム前を右折 500m

**国道34号線経由** 轟木二本黒木を（左折・右折）より 700m、赤井手を左折より 1.6km、三菱農機前を左折より 1.2km

**鹿児島本線** 博多駅 - (25分) - 鳥栖駅 - (1時間) 熊本駅

**長崎本線** 鳥栖駅 - (15分) - 佐賀駅 - (2時間) - 長崎駅

